

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型サービス あつまるハウス「すまいりー」			
○保護者評価実施期間	令和8年5月8日		～	令和8年5月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和8年5月8日		～	令和8年5月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年6月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども主体で活動できている。	指示や管理による活動ではなく、子どもたちが「何をしたいか」「どう遊ぶか」自ら選択できる環境を整えています。スタッフは子どもの「やりたい」意欲をサポートする姿勢を意識して支援を行っています。	子どもたちの小さな発信を逃さないよう、個々の興味を日々のプログラムに反映させられるよう心がけます。また子ども同士が意見を出し合い、協力して活動する機会を増やし、自信を育む環境を目指します。
2	子どもが好きな活動や新しい活動にアンテナを張っており、活動の幅が広い。	子どもたちが楽しめる活動を常に模索し、新しい体験の機会を積極的に取り入れ、日々の遊びに広がりを持たせる工夫をしています。	これからも多様な体験プログラムの提供に努めます。子どもたちの「好き」をさらに深めると同時に、まだ気づいていない「好き」を発見できるような環境を提供したいと考えています。
3	医療ケア児のお子さん含め、児童の積極的な受け入れを行っている。	医療的ケアが必要なお子様も、そうでないお子様も同じ場所で共に過ごせる環境を大切にしています。安全管理、ひとりひとりの健康状態に応じた対応を行っています。	スタッフの学ぶ機会を継続的にに行い、より安心安全な受け入れ体制を盤石にします。ケアが必要なお子様も一緒に楽しめる遊びを工夫しすべてのお子様が自然な形でお互いを受け入れられる、あたたかなインクルーシブな場所作りを目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所して間もなく、経験豊富な職員が少ない。	開所して半年で、個々のスタッフが支援スキルを現場で実践しながら習得している状態。経験の蓄積が十分とはいえない。	①研修の充実 ②日々の課題や成功事例の共有 ③マニュアルの見直し
2			
3			